

ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

あなたは、大切な人の治療を決められますか？ —民法学者が読み解く、医療同意の空白

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

人気の記事



2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
132402Views
OTEMON VIEW編集部



2022.10.07 社会とくらし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
94999Views
OTEMON VIEW編集部



2022.07.06 こころとからだ
「なつかしさ」はビタースイート。記憶心理学者ととどるメカニズムと心理的効果
57802Views
OTEMON VIEW編集部



2022.12.20 社会とくらし
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル
55066Views
OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 こころとからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」を考える薬害被害について
46829Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

ニュースを教育・研究の視点から

2026 年に成年後見制度は見直されましたが、判断が難しい人の医療同意に法律は答えを示さず、鍵を握るのは医療者と患者側の「対話のプロセス」です。

患者の自己決定を支える「対話」の本質とは何か、そして医療現場に立ちはだかるハードル、超高齢社会に求められる仕組みとは何か。民事法学の視点から「医療現場における同意と意思決定」を研究する石田 瞳准教授による解説です。

(以下は主なポイント)

「説明」から「対話」へ。医療同意の考え方の変化

○患者の意思が重視されるようになった背景

○患者の自己決定を支える「対話」とは？

対話はなぜ難しい？ 医療現場にあるハードル

○対話のプロセスとしての SDM・ACP という考え方

「判断が難しい人」はどうする？ 本人の意思決定を尊重するために

○大切なのは、本人の価値観をどうくみ取るか

○対話を支える「橋渡し役」が重要になる

納得できる治療のために、社会でめざすこと、誰もができること

○法律ができること、できないこと

○今日から始められる「対話」の一步

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3987/>



記事のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL: 072-665-9166 織田・所